

本命

絶対王者の白



〔クロスボーン・ガンダムX2ジュリア〕
CROSSBORN GUNDAM X2 JULIA
 XM-X2-JULIA

〔第3回ホワイトウォーズ開催!〕
 参加条件はただひとつ、白い機体であること。今年で第3回を迎えるホワイトウォーズはガンプラバトル愛好家だけでなく、カラーリングが統一されることによって機体のマニュアルやエフェクトが映像的にも際立ち、各国のビジュアルアーティスト達からも注目度の高い大会だ。開催直前の今回は、大会本部から届いたトーナメント表の公開と、キングオブWWとして名高い「大本命」、そして注目の「対抗馬」となる2機体を紹介する。



白き挑戦者は

対抗馬

〔ライトニングZガンダムアスプロス〕
LIGHTNING Z GUNDAM ASPROS
 MSZ-006LGT-3
 1/144 SCALE PLASTIC KIT "HIGH GRADE+SCRATCH"
 MODELED BY YUJIMA KOUSAKA

英雄の閃光

〔トーナメント参加機紹介&トーナメント表〕



PG 1/60
 〔ロコンガンダム〕
 ニューコンモード



HG 1/144
 〔ガンダムAGE-2ノーマル〕
 特選版仕様



HG 1/144
 〔ジム・スナイパーII〕
 ホワイト・デイズ仕様



HG 1/144
 〔ガンダムAGE2〕



HG 1/100
 〔トールギス〕



HG 1/100
 〔ザクII〕
 ホワイト・カーガ

※全体の比賽が発表されれば最終日が多くなるのでは、と発表会で指摘まで聞かれたりしたこの機体。トウマ選手の「ホワイト・デイズ」選手として知られたいという思いが強い選手と噂された。

※ガンダムAGEの白い機、ウルフ・エアリアルの新機體をやマガ選手が知る。チームカラーが白のため、トウマ選手の「ホワイト・デイズ」選手として知られたいという思いが強い選手と噂された。

※ZBはMSサイズで登場の「トルギス」。当初の出場予定だったイカダ選手だが、縁故の事情により欠場のため、代理ファイターとしてタカキ選手が担当することになった。

※エイジ選手が持ち込んだのはリアルタイプの白、ザクスのホワイト・オーガ。機体のウレタン塗装が赤く、ミラリィ感あふれる機体は必ず必要だ!



1 1 1 コウサカ氏は以前にも本誌の読者参加型企画に登壇しており、小学生ながら天才的な才能を発揮していた。その当時から可変機を選択していた氏にとって、変形機体の代表格と称べるZガンダムをあえて非変形へと改造したのは実に興味深いところである。聖魔学園でチームを組み、優勝できる仲間という存在を得たことでビルダーとしての「世界」が広がった。と評するのはいくらも誇った見方だろうか。

2 2 2 聖魔学園チームが発表される以前から、ガンダムに傾いた高橋ビルダーの製作技術は、工作精度の高さ、仕上げの美しさだけでなく、得も惜むれぬ「御用機」をガンダムと与える。それはバトルシステムではスキャンングされないデータとしても、対戦相手には数値で計れない「フレッシュ」となって実戦に作用する。

3 3 3 白い陶磁器を想起させる塗装表現は、白いガンダムが集うホワイトウォーズこそ際だつカラーリングとも言える。触れることすら憚る程の美しさが、実際の戦闘能力はその印象を単なる高層堅牢さを誇り、そこにクロスボーンガンダム由来の攻撃性能が加わることで、王者の風格は完全に成立した。



4 4 4 無色」とも表現されるホワイトカラー。今回特集した2機だけでなく、改めてWのトーンアップ表を見れば、その言葉の意味を成さない程にさまざまに白が存在するかがわかってもらえるだろう。オリエーターあふれる出場者達が見せる、何色よりも彩られた最高のガンダムバトルを期待したい。

その対角に位置するもつひとつこのシード枠に収まったのは、予選を好成績で勝ち抜いた若き挑戦者だ。ガンダム選手権中高校生の中で優勝した聖鳳学園チームトワイファイターズのひとり、コウサカ・ユウマ。メイジング杯のオンラインコース優勝作品をベースにしたライトニングZガンダムアスプロスで臨む。伝説のハイロケット、アムロ・レイの乗機カラーへ化粧直しが施された新作ガンダムは、一体どれほどの戦闘力を見せるのだろうか。



5 5 5 毎年3月14日、男性が女性へ返礼を贈るホワイトデー。その同日に、ガンダムファイター達は白い機体でガンダムバトルへ感謝の気持ちを表す。その名もホワイトウォーズ(以下、WW)。今回で3回目となる「風変わったレギュレーション」の大会はいよいよ増して清々しいグリーンなファイターが繰り広げられることだろう。

**HH編集部による
第3回ホワイトウォーズ展覧
このガンダムファイターに注目!!**

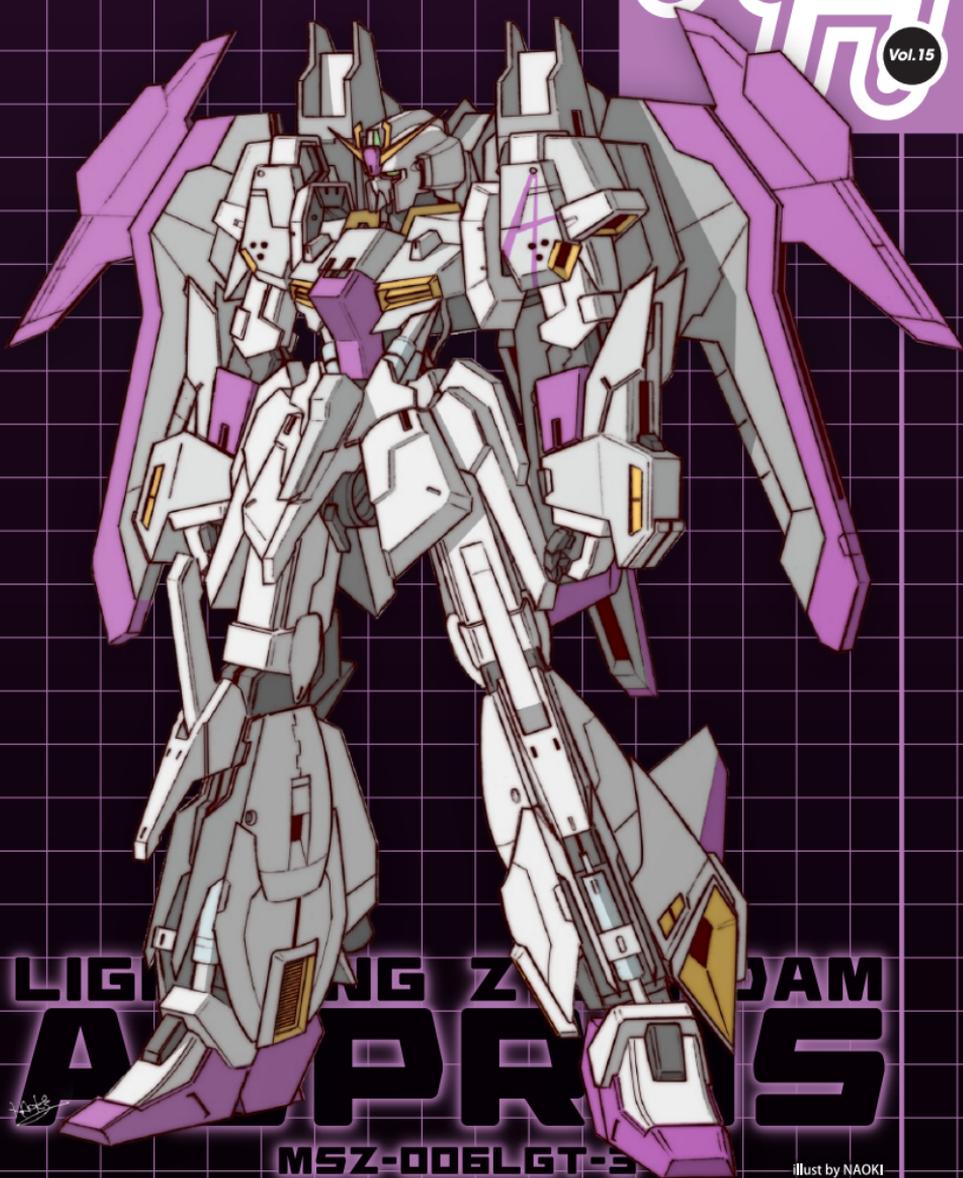
今年最大の目玉は、第1回大会で優勝したジョン・エリア・マッケンジー卿が駆るクロスボーンガンダムX2ジュリアの参戦に他ならない。原典機の荒々しい戦いとは相反し、氏の紳士的な佇まいを体現するスモーキーな試合展開は、初開催にしてWWの真髄を見た(という声も少なくはない)。今回も当然のようにシード権を取得し、圧倒的な存在感をトナメント表でも見せつけており、優勝候補の筆頭として疑う余地はないだろう。

[ライトニングZガンダムアスプロス再現設定画]

HOBBY
HOBBY

イフ=アツクセルターズ
SPECIAL!!!!!!!

Vol.15



illust by NAOKI